

暴風雨「キアラ」による物流への影響と「デニス」発生に伴う注意喚起

2月9日(日)から10日(月)にかけ、英国とアイルランドを含む欧州北部各地では、暴風雨「キアラ(Ciara)」に見舞われ広範囲に被害発生し、各国に影響が及んでいます。また、今週末にかけてあらたな暴風雨「デニス(Dennis)」が発生、接近する旨の予報がされています。本号では、物流への影響、及び注意喚起についてお伝えします。

1. 暴風雨「キアラ」による被害の概要と物流への影響

過去7年で最大級の規模となる暴風雨「キアラ(Ciara)」は発達した低気圧で、台風並みの大雨や40m/秒を越す突風をもたらしました。死傷者・行方不明者の発生が発生しただけでなく、複数の河川の氾濫に伴う洪水や浸水、一時はイギリスで60万戸を越す停電、チェコ・フランス等でも停電、オランダでは倒木と鉄道との衝突等、広域で被害が発生しています。

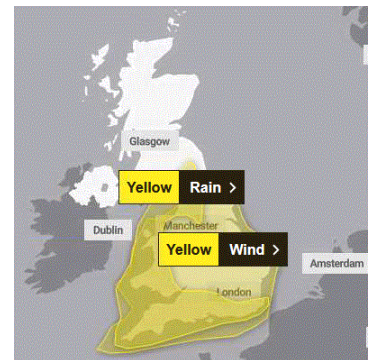
欧州各地の空港では数百便が欠航したほか、鉄道の速度制限運行や運休、各種スポーツイベントの取りやめも発生するなど、多大な経済損失も与えています。ベルギー・ドイツ・ルクセンブルク・オランダ等で交通規制があり、2月10日(月)にはオランダで720kmに及ぶ交通渋滞が発生したと報告されています。

一般家屋や個人所有の乗用車など市民生活への影響は甚大ですが、主要な港湾ヤードや各国の物流インフラでの被害は現時点で確認されておらず、物流への影響は軽微にとどまる模様です。

2. 暴風雨「デニス」の発生に伴う注意喚起

一方で、英国気象庁によれば、引続き新たな低気圧が発達する見込みで、暴風雨「デニス」が今週末にかけて接近する恐れがあるとの予報がなされています。

なお、同庁は気象警報を出す場合、天候の影響とその発生可能性の組み合わせに応じて、黄色、アンバー(琥珀色)、赤色に分けていますが、今週末は右図のように黄色の警告(悪天候による影響の可能性が高く計画の中断可能性あり)となっています。



暴風雨「キアラ」ほどの規模にはならない見込みですが、すでに被災した地域や地盤の緩んでいる場所では、通常よりも少ない雨量でも浸水や土砂災害の危険度が高まる恐れがありますので、十分な警戒と事前の対策を頂くようお願いいたします。 2月15日(土)の予報(英国気象庁HPから加工)

【グローバルネットワーク】

今回の暴風雨に関わる事故が発生した場合は、下記のヨーロッパの損害サービスネットワーク、弊社コマース損害部または営業課までご連絡いただきますようお願い致します。

https://www.tokiomarine-nichido.co.jp/hojin/marine_site/songai/kamotsu/kaigai_network/europe.html



本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。編集にあたっては万全の注意を行っていますが、本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、これにより生じたいかなる損害に対して弊社は一切の責任を負わないものとします。



船舶・貨物・運送の保険の情報サイト「マリンサイト」



マリントピックス バックナンバー